

令和4年度 第1回松山地域協議会会議録

日 時 令和4年6月17日（金） 午後1時30分～3時30分
場 所 松山農村環境改善センター

出席委員 11名

齋藤 明 阿部 喜久子 清野 淳 富樫 とも子
荘司 東一 齋藤 薫 平向 邦夫 三浦 由美
榎本 和介 齋藤 紀代 須田 良

欠席委員 3名

佐藤 徳康 小林 正利 加藤 恭子

酒田市出席者

松山総合支所長	出嶋 亨
松山総合支所長補佐	丸藤 真也
松山総合支所長補佐兼建設係長	堀 伸一
松山総合支所地域振興主査	阿彦 求
松山総合支所健康福祉係長	富樫 明子
松山総合支所産業係長	工藤 慶

1 開 会

○開会の言葉 出嶋支所長

2 会長あいさつ

○平向会長からあいさつ

3 議事録署名人の指名

○会長が議事録署名人に、須田良委員を指名

4 議 事

- (1) 令和4年度松山総合支所管内の主な事業について
- (2) 令和4年度松山総合支所予算について

～出嶋支所長が資料に基づき説明～

(齋藤明委員)

酒田市の予算編成の重点目標の4点を掲げているが、具体的にはどんなことをするのか。

(出嶋支所長)

例えば脱炭素の取り組みとか、リモートワーク、テレワークなど新しい生活様式へのシフトの取り組み、分かりやすいデジタル社会へのシフトなどへの取り組みなどである。

(齋藤明委員)

松山地区に関しては、例えば具体的にデジタル変革の事業はあるのか。

(出嶋支所長)

これは、市全体の予算編成の重点目標である。酒田市デジタル変革戦略を基に、オンライン手続きの拡充や、市民と市をつなぐポータルサイトの構築などを指すものである。

(齋藤明委員)

資料にあるのは主な事業ということで合計すると8億円位しかないが、他に大きな事業はないのか。

(出嶋支所長)

資料には、市が行う全事業を掲載しているわけではない。特に力を入れていきたい事業を抜粋して記載した。

(齋藤明委員)

市では558億円の予算があるようだが、松山地区に住んでいると、新しい取り組み、期待ができる取り組みが感じられない。継続事業が多いような気がするが、新しく何かが始まるような希望が持てるようなものはあるのか。

(出嶋支所長)

松山地区関連では、即効性があるものではないかもしれないが、例えばデマンドタクシーは利便性がよくなる。また、観光戦略・インバウンドの推進の効果が出れば、誘客が増えて松山地区にもよい影響は出てくると思う。

(清野淳委員)

昨年度の地域協議会で過疎債があるときいたが、今後松山地区の中でどのように使われていくのか教えてほしい。

また、通学路のライン標示について要望したい。本町から松山小学校までの歩道のラインが消えている。松嶺コミセン前、消防署松山分署前の横断歩道も消えている。子どもの安全確保のため、検討していただきたい。

(出嶋支所長)

過疎債は、過疎計画へ掲載している事業について使えるので、松山地区内のインフラ整備やイベント等を過疎計画へ掲載している。過疎債は積み立てもできるので積み立てをして大きく使うこともある。

(堀補佐)

外側線は、道路管理者が引くことになっている。横断歩道は、警察が引いたり、道路管理者が引いたりしている。

通学路安全点検を年1回行っているが、これは学校、警察、道路管理者、見守り隊などが一緒に点検を行うもので、ある程度予算もある。学校で意見の集約をしているので、これに話を挙げてもらえば、話が通りやすい。

(平向会長)

私も3年前にこの地域協議会で「通学路が危険なので、センターラインをなくしてはどうか」と提案した。その後、自治会連合会の会長、民生委員担当者、教頭先生とで通学路安全点検を行い、危険箇所をまとめた。その後、教育委員会でも取り上げていただき、かなり改善された。

その後、30km制限になった。1車線化にはならなかったが、私は1車線化した方が安全だと思う。

(清野淳委員)

危険箇所点検にあげないと要望は通らないということか。

(堀補佐)

予算は限られている。危険箇所点検にあげると、優先して対応できるということである。

(三浦由美委員)

私はスクールゾーンにして、カラーにしてほしいと思っている。

(堀補佐)

スクールゾーンにすると、車の進入や速度の規制が関係してくるので、ハードルが高くなる。

全国的には、車道を狭めるとか段差をつけるとかの方法があるが、除雪を考えると段差はつけられない。まずは警察や地域の方や学校関係者が集まり、どんな対応がいいのか相談する必要がある。

(平向会長)

3年前の話に戻るが、その後に側溝など一部の危険箇所は改善されたが、カラー舗装、1車線化の話はなかなか難しく実現できなかった。

そこで声かけ隊を集めて推進していこうと思っていたが、コロナで学校での集まりができなくなった。今は農村環境改善センターなどで集まって意見をきいているので、安全な通学路の実現に向けて頑張りたい。

(阿部喜久子委員)

住民としては、30km制限はノロノロになり大変なので、時間制限を設けるなど配慮をしていただきたい。

(清野淳委員)

防災の試験放送についてだが、この間の火曜日10時、屋外スピーカーから聞こえなかった。

また、防災ラジオの試験放送を月1回でいいのでお願いできないか。

(出嶋支所長)

防災ラジオの試験放送は、定期的に毎月1回、行っている。

屋外スピーカーは風向きなどで聞こえないこともある。防災ラジオの放送が入らないとしたら、故障か何らかの原因がある。

(清野淳委員)

自宅の防災ラジオでは、普通のラジオは聞こえる。コミセン、自治会館の防災ラジオは、試験放送は入らなかった。

(齋藤喜代委員)(須田良委員)

私の家も試験放送が入らない。

(平向会長)

電池が切れている場合もある。コンセントもつなげた方がよい。

(榎本和介委員)

試験放送が入らないようでは困る。行政で確認する必要がある。

(出嶋支所長)

危機管理課へ連絡して、すぐ対応する。

(榎本和介委員)

砂山公園の管理に予算がついているようだが、人が登っていくところを見たことがない。登っていても、中学校の廃墟があるだけで、きれいなものではない。市の財政が厳しいというなら、このような場所の維持管理に予算を使うより、交通安全のために白線を引くなどの対応をしてはどうか。

(堀補佐)

砂山公園の予算は、藤棚の維持管理、立ち木の選定、草刈りなど日常管理の範囲である。地域の要望があれば規模縮小なども考えられるが、全く手を入れないと荒れ放題になってしまう心配もある。

(榎本和介委員)

昔は、アカマツの木や東屋なども整備されていて人も集まったが、今はそんな整備計画もない

中で草刈りだけするのは、予算の無駄使いではないかと思う。限られた予算なので、有効に使ってもらいたい。

(富樫とも子委員)

總光寺手前の駐車場のトイレは封鎖されているが、使えるようにしてほしい。自宅が近いので「トイレないですか」と聞かれることがある。

(出嶋支所長)

いたずらが多かったり、利用が少なかったりしたことがある。もう少し登ると、キャンプ場のトイレがある。總光寺へ行く人は總光寺のトイレを使う。冬は排雪場になるため4か月は使えない。

(富樫とも子委員)

その駐車場は、集合場所などに使われていて、人は結構集まる。再考の余地はないのか。

(出嶋支所長)

担当部署へなお確認してみるが、再開はおそらく難しい。

(齋藤紀代委員)

松山農産物加工所は、無くなると聞いたが本当か。

(出嶋支所長)

松山農産物加工所は、市の公共施設適正化計画の中で、利用頻度が低い施設として整理中である。先ほどから財政が厳しいという話が多くて申し訳ないが、維持管理費が掛かっている。施設を無くするというより、利用者が特定されているものは移管するとか、運営を移譲できないかということを検討している。

(齋藤紀代委員)

移管したとして、補助金などはでるのか。

(出嶋支所長)

補助金はないが、もし移管したとすれば使用料金の負担は無くなる。代わりに維持管理費用の負担はでてくる。

(齋藤紀代委員)

移管先へ丸投げということか。

(出嶋支所長)

市の管理から離れるということ。つくるものによっては保健所の許可を得るために施設の仕様を変える必要があるなど、建設当時から長年経って、状況が変わってきている。

(荘司東一委員)

デマンドタクシーが変わるということで、私も含め地区から3人が登録した。実際に乗って体

験して普及していきたい。令和5年度予算について、コミセンだよりで地域要望などを募集したところ、三点出てきた。

一つ目は、市道の路肩の草刈りを徹底してほしい、ということ。

二つ目は、庄内橋南側の桜の大木の法面に草木が繁茂している。地元でも協力するので、環境整備をお願いしたい。秋には太陽光発電の施設ができる予定で、目立つ場所である。より良い景観形成を考えていただきたい。

三つ目は、庄内橋の工事の件で、側面から見た橋のデザインを知りたい。鳥瞰図はコミセンへ配布されているが、住民は側面図の方がイメージが分かりやすいと思う。住民のために、できればデザインのイラストなどを広報やチラシで配布していただきたい。

現在の庄内橋は昭和33年にできた橋だが、松山町初代の後藤町長が書いた書が研修センターへ残っている。『庄内に流れ行く最上川 夢の懸け橋 いま目の当たりにす』とあり、強い思いが伝わってくる。

地元の竹田自治会としては、この橋に関連して地域活性化ための標語の看板を設置したいと考えている。一般県道余目松山線改良促進期成同盟会とも連携していきたいと考えているので、総合支所からも相談にのっていただきたい。

(出嶋支所長)

鳥瞰図は配布できるが、側面のデザインとなると誰かに依頼する必要がある。法面の草刈りは、今も一応はしてはいるが、引き続きしていきたい。

(荘司東一委員)

鳥瞰図ではなく、側面から見た完成予想図を見たい。

(平向会長)

改良促進協力会で庄内総合支庁へ頼んでみたい。

(須田良委員)

眺海の森をもっと活気のある場所にしてほしい。

(出嶋支所長)

コロナが収束していけばイベント等も復活させるつもりなので、賑わいを取り戻せると思う。

(3) 令和3年度市長報告会について

～平向会長から資料に基づき説明～

(平向会長)

今年度の市長報告会で提言する内容については、今後の地域協議会で協議していきたい。

(齋藤明委員)

市長報告会の資料を見るといい内容だと思うが、これについての回答はあったのか。

(出嶋支所長)

当日は市長が不在で副市長対応だったため、「市長へ伝えておく」ということだった。その後の確認はしていない。もし市長がいれば、その場で回答することになる。

(荘司東一委員)

まちづくり協働指針の策定中だと思うが、現在どんな議論になっているのか、途中の経過でいいので教えていただきたい。

(出嶋支所長)

松山地区では、まちづくり協働指針の策定メンバーの希望者がいなくて、私が代表として出席している。まだ発表できるほど話し合いは進んでいない。8月に講師を招いて講演会をするので、その後にお知らせしたい。

5 閉 会

(平向会長)

これで第1回松山地域協議会を終了する。円滑な議事進行に協力を賜り、感謝申し上げます。